

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	避難場所案内板等整備事業			会計	款	項目	大	小
				01	09	01	05	02
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	大津 真規			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民等	意図	避難場所・避難所等の周知を図る。
事業内容	市民等が地域の避難場所・避難所を確認できるように案内板・標示板等を市内各所に設置する。			
事業開始から現在までの状況変化	既に設置している避難場所案内板・標示板の多くが老朽化しているため、交換や補修等が必要となっている。また、区画整理事業などで街並みが変わっている地域があることから、新規の避難場所・避難所の案内板の設置も必要となっている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	避難所案内板の設置数	43	43	44	箇所	↑↑↑	
②	避難場所・避難所の標示板盤面張替え枚数	0	21	21	枚	↑↑↑		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果	避難場所等が確認できることにより、市民の安心・安全に寄与する。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 既に設置されている案内板や標示板の多くが老朽化により、交換や補修が必要となっている。 平成29年度は市内の指定緊急避難場所等の標示板について、災害対策基本法の改正に伴い、想定される災害種別毎に標示（ピクト）を変更する。また、併せて英語化も図る。 なお、老朽化して見えにくい標示板も併せて更新する。			
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)			3,809,600	4,052,000				
事業費(b)(円)			453,600	756,000				
うち一般財源			227,600	430,000				
職員給与と費(c)(円)			3,356,000	3,296,000				
人役・職員(人)			0.50	0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	避難場所・避難所の老朽化した標示板の盤面張替えを実施する。南流山中央公園に案内板を設置する。	③取組における課題(Check)	既に設置されている案内板や標示板の多くが老朽化により、交換や補修が必要となっている。
②H30に実施した取組(Do)	避難場所・避難所の老朽化した標示板の盤面張替えを21箇所実施した。また、南流山中央公園に案内板を設置した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	優先順位を付けて、順次、盤面の張替えや補修や新規設置を検討する。